

三條別院のご案内

三條別院に想う

寺に生まれたとは言え、子供の頃からお経も教えられなかったし、行事にも参加したことがなく、何をやっているかさっぱりわからなかったし、興味もなかった。本堂と境内は格好の遊び場だった。別院から遠かったせいもあるが、得度審査を受けるまで(二十歳の時)その存在すら知らなかった。受けてから何の想いもなかった。それが計らずも別院の真裏に縁があると予想だにできなかった。以来別院は身近な存在となった。

宗門立の学校を出たとは言え、殆んど勉強して来なかった。(よく卒業させてくれたもんだ)それがいきなり二十七歳にして住職となってから「困った」。正直な実感である。幸いに近くに別院があったことが救いだ。色々な研修会に参加し、お取り越しにも出仕した。(最初は嫌々だったが)それなりに教学・儀式・作法を学んだ。多くの友人・先輩・後輩にも恵まれた。「別院」のお蔭である。

寺に生まれて、寺に入ったが、本当に「坊主」になりたかったのか?と言えば違ったかもしれない。何かしたかった訳でもない。何ができる訳でもない。ただ流れて……。

しかし、後悔してはいない。なつたことで多くの「問い」を戴いた。それは「願い」(本願)の裏返しだと思ふ。しかし、いまだ不勉強である。すぐ「懈怠」の心が起る。ただ、その「問い」が解決するまでは止められない。「信心とは、この世に人として生まれてきたことの責任が明確になることだ」という先師の言葉を胸にして。私にとつて「別院」とは、そんな「問い」を与えてくれた「一人」である。

(第十五組善性寺住職 福田 学 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

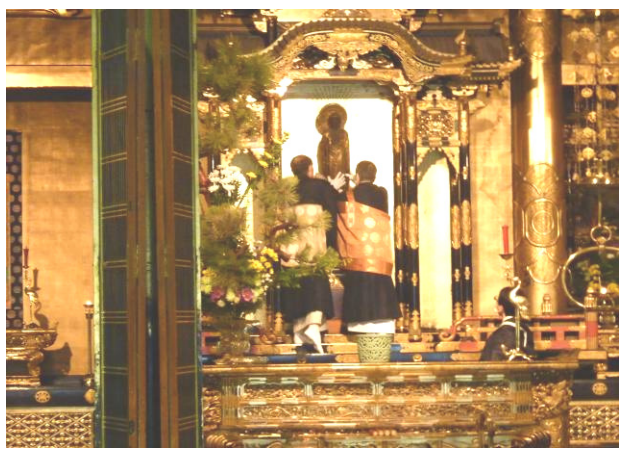
上野 正興 氏(佐渡組 専念寺門徒 より)

ご執筆いただきます

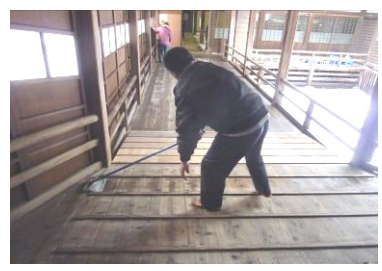
■別院すす払い奉仕研修を開催しました

去る十二月十八日三條別院すす払い奉仕研修が行われました。前日(十七日)には例年のように第十八組による研修が行われ、田沢一明氏(第九組明誓寺)の講義がありました。十八日には、三條別院有志の会と有縁の方々を交え、七十名近い参加者とともに清掃奉仕を行いました。三條別院輪番と浄圓寺住職による御本尊並びに宗祖御影のすす払いの儀式を終えた後、参加者は一年でたまったすすや埃を払いました。週末から降り続い

た雪で本堂内は非常に寒かったものの、本堂・旧御堂・書院と清掃を進めました。清掃の後、荘厳の整えられた本堂で、正信偈を同朋唱和しました。一年間に、いろいろな法要・聞法会がありました。が、「払い終わる」ということのないすすや埃に教えられながらも、新年をお迎えしたい所存です。



【別院輪番・浄圓寺住職による御本尊のすす払い】



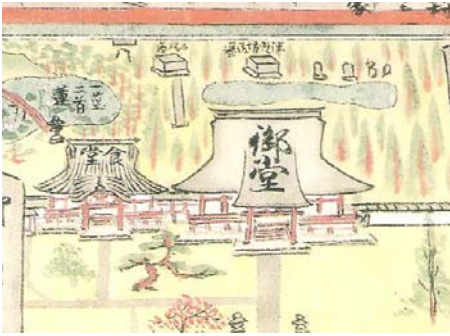
【本堂、旧御堂・書院・廊下・同朋会館とすすを払った】

■荒谷同朋会 御影巡回を行いました

去る十二月九日、荒谷（相崎市西山町）同朋会にて、三条別院から阿弥陀如来の御影をお迎えし、御影巡回が行われました。二十名近い参詣者により、同朋会の報恩講をお勤めした後、鷺尾輪番による法話が行われました。同朋会の忘年会を兼ねているということもあり、二〇二一年を振り返り、この度の東日本大震災と親鸞聖人の生きられた災害の時代を重ね合わせて語られました。

法話後の質疑応答では、「三条別院と三条教務所はどのような関係なのか」などと、率直な疑問が次々と挙がりました。懇親会では「先祖が三条別院までお参りして、到着した別院から出した手紙が残っている。交通が発達した今は日帰りが普通だが、昔は別院までいくのが一つの旅だった」という話などを聞かせていただきました。

後述のご案内にもありますように、さまざま形式での巡回を受付けておりますので、ぜひ別院までご相談下さい。



【江戸時代（文政年間）の三条別院】

■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【二月二十八日（土）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第第六

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

米山裕子 氏（眞宗学院第一期卒業生）

◇今後の講師一覧

二月	鷺尾 幸雄	(三条別院輪番)
三月	松澤 孝然 氏	(第十九組 浄林寺)
四月	泉 智慶 氏	(第三組 慶誓寺)
五月	武樋 隆如 氏	(第十四組 蓮光寺)
六月	松野 祐 氏	(第十三組 善行寺)

■定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中

で、この「両度の命日」についてお書きになられています。（四帖目十二通）

三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より（約一時間程度）

◇場所 三条別院 旧御堂

（二月は同朋会館にて行います）

◇御講師

一月 休会

二月～四月

塚本 智光 氏(第十八組 等蓮寺)

五月～七月

赤沼 義昭 氏(第十三組 西方寺)

※塚本・赤沼両氏には、三ヶ月にわたってご法話をいただきます。



【10月～12月まで講師を務められた風巻和人氏】

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階 事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院御影巡回がより多くの方々のお念仏をいただける場となるご縁となりますことを、願っております。

※曜日・時間等は昼夜問わず、皆様のお仕事の後などご相談させていただきます。

■年末年始の開閉門時間変更のお知らせ

年末年始（十二月二十九～一月五日）の開門・閉門時間時間につきまして

開門：午前六時三〇分

閉門：午後三時

とさせていただきますので、宜しくお願い申し上げます。

■三条別院非常勤嘱託募集について

全寺院に既に案内させていただきましたきました非常勤嘱託を、随時募集いたします。詳細・履歴書につきましては、当別院までご連絡ください。

- 一、募集人数 若干人
- 二、勤務先 真宗大谷派三条別院
- 三、職種 列座業務
- 四、勤務時間 月15日程度 平常午前6時から8時まで 諸法要及び土日祝日に出勤の場合（月1回程度）は、その限りではない。
- 五、任期 1年 但し、再任を妨げない
- 六、応募資格 ①真宗大谷派の僧侶 ②儀式・声明を学ぶ意欲がある者
- 七、その他 定員になり次第、終了とさせていただきます

◇◇編集後記◇◇

私が小、中学生の頃までは元旦というと、午前一時頃になると決まったご門徒さんがお寺にお参りに来たものでした。自坊は梵鐘がありませんので、割とゆつたりのんびりしたものでしたが、それでも一時頃になるとポロポロと人がやってくる。当時は庫裡が建て替えられる前であり、庫裡の真ん中には囲炉裏があり、酒を温め、身を寄せ合いながら新年の挨拶を済ませ、寺のこと、身の回りのこと。様々なお話しをご門徒さんとした。そんな

な光景を覚えています。もちろん祖父と一緒にご門徒さんを待っている間も良い時間で、その囲炉裏のある場所は貴重なコミュニティーの場であった気がします。

今はどうかと言いますと、時間は朝に移ったものの、かわらずお参りがあることは有り難いと思うのですが、その囲炉裏の火を囲む光景が忘れられず、いつか設置できないものかと野望を持っているわけです。

忘れられないお正月の光景。皆さんはどのようなお過ごしでしょうか。

（松浦）

